



平成 22 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 櫻 島 埠 頭 株 式 会 社
 代 表 者 役 職 代 表 取 締 役 社 長 氏 名 森 中 通 裕
 (コード番号：9353 大証第 2 部)
 問 合 せ 先 役 職 常 務 取 締 役 (総 務 担 当) 氏 名 山 内 伸 威
 電 話 番 号 06-6461-5331

業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。また、役員報酬の減額についても決議しましたので合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想数値の修正
 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,200	百万円 △200	百万円 △190	百万円 90	円 5.99
今回発表予想 (B)	2,443	△72	△60	176	11.78
増減額 (B)－(A)	243	128	130	86	—
増減率 (%)	11.0	—	—	95.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	2,207	△63	△59	△197	△13.17

平成 23 年 3 月期 業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,400	百万円 △340	百万円 △330	百万円 10	円 0.67
今回発表予想 (B)	4,500	△430	△410	60	3.99
増減額 (B)－(A)	100	△90	△80	50	—
増減率 (%)	2.3	—	—	500.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	4,607	20	30	△299	△19.92

2. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間につきましては、各セグメントにおいて売上高が予想を上回ったこと及び上期に予定していた設備修理が一部下期に繰越されたことにより、営業損失、経常損失は減少する見込みです。四半期純利益につきましては、上記理由のほか、低温倉庫の契約先変更の際に中途解約違約金(3億8千8百万円)を収受したことから、増加する見込みです。

(2) 通期

通期につきましては、ばら貨物及び液体貨物の両セグメントの売上高は、ほぼ期初予想通りになる見込みです。物流倉庫セグメントの売上高は、荷役収入の増加により期初予想を上回ると見込まれ、全体としては、期初予想に対し増収となる見込みです。

しかしながら、損益に関しては、物流倉庫セグメントの荷役収入は、利益率が低いため増益には寄与せず、期初には予想しなかった低温倉庫の契約先変更に伴う保管収入減少や、第2低温倉庫の自営化による収益率の悪化が影響し、営業損失、経常損失は拡大する見込みです。

当期純利益につきましては、期初に予定した有価証券の売却額を減らすため、有価証券売却益が1億1千万円に減少する見込みであるものの、低温倉庫の中途解約違約金の計上により、期初予想に対し増益となる見込みです。

3. 役員報酬の減額

当社は上記の平成23年3月期の業績予想の修正を厳粛に受け止め、経営責任を明確にするため、以下の通り役員報酬の減額について決議しましたのでお知らせします。

(1) 取締役報酬の減額の内容

代表取締役社長 月額報酬の35%

その他の取締役 月額報酬の20%

以前より実施している減額幅を上記の率に拡大するものであります。

(2) 監査役報酬自主返上の内容

監査役 月額報酬の20%

以前より実施している自主返上幅を上記の率に拡大するものであります。

(3) 実施時期

平成22年10月より業績の悪化している当分の間

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上